

科目名	法医学Ⅱ	担当者	奥田 貴久	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
				授業時間数	90分×15回		必修選択	法律 公共政策	

【関連するDP・CP】 (DP=ディプロマ・ポリシー:学位授与に関する方針) (CP=カリキュラム・ポリシー:教育課程の編成・実施に関する方針)	DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	DP-6	DP-7	DP-8
	CP-1	CP-2	CP-3	CP-4	CP-5	CP-6	CP-7	CP-8
	○	○						

【授業の概要】
 法医学は、法学の分野に医学の知識と原則を適用し、問題解決の一助となることで社会的使命と責任を果たすことを目的としています。特に死因究明は主要業務であり、死因を決定するために法医学解剖を通じたエビデンスの収集を行います。また、薬毒物やアルコール、生命倫理、医療安全など法医学に関連したさまざまな研究も行っています。法に関連する医学的諸問題を解決するための基本的な事柄を学生諸君に医学的知識がないことを前提にわかりやすく解説します。

【授業の目的】(General Instructional Objective: GIO 一般目標)
【授業目的】 法医学が医学に属し自然科学を基礎としていることを理解し、社会における様々な事件事故に法医学が果たしている役割を理解することを目的とする。
【到達目標】 法医学の基本的事項を習得し、回答できる。法医学の各事例についてそれぞれ問題点を指摘できる。
 関連DP及びCP: 法律学科1, 2 公共政策学科1, 3, 4

【履修条件】
 講義内容は他言しない。SNS等で講義内容を拡散させることは厳禁。講義で用いる写真や動画等の撮影は禁止。解剖などの写真を用いることもあるので、これらを閲覧してめまいをおこす可能性がある学生は、履修を遠慮していただきたい。

【授業方法】
 パワーポイントを用いて講義する。毎回授業前プリントを前日までにポータルサイトにアップロードする。

アクティブ・ラーニングによる授業回の有無	無
アクティブ・ラーニングの形態	

【到達目標】(Specific Behavioral Objectives: SBOs 個別行動目標)

ルーブリック評価項目の内容	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
	豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	日本及び世界の社会システムを理解し説明する力	論理的・批判的思考力	問題発見・解決力	挑戦力	コミュニケーション力	リーダーシップ・協働力	省察力
	達成されるべき具体的行動				関連するルーブリック評価項目の達成レベル			
	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
①	法医学とは何か、死因、死因の種類について説明できる。	1	1					
②	死の判定、心臓死、脳死、臓器移植法について説明できる。	1	1					
③	種々の内因死、外因死について成因や受傷機転を理解し、説明できる。	1	1					
④	交通事故関連法規や交通事故の現状、交通外傷について説明できる。	1	1					
⑤	わが国の死因究明について、実務面と法的側面から説明できる。	1	1					
⑥	違法薬物に関連する法律、薬物依存について説明できる。	1	1					
⑦	医療関連法規や薬害について説明できる。	1	1					
⑧	美容医療がもたらす問題について、倫理面や実務面から説明できる。	1	1					
⑨	飲酒がもたらす社会問題について、依存や健康被害の観点から説明できる。	1	1					
⑩	北米の銃、薬物依存、人種差別などの社会問題について理解し、説明できる。本邦の死因究明との違いについて説明できる。	1	1					

【成績評価の方法・基準・割合】		到達目標										評価方法別の比率(%)
成績評価方法	評価基準	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
試験(定期試験/授業内試験)	受講者数にもよるが、基本的には試験の成績で評価する。	5	5	5	10	10	10	5	10	10	30	100
小テスト等												
レポート等												
討論・発表等												
授業への参画度												
その他()												
その他()												
その他()												
到達目標別の比率(%)		5	5	5	10	10	10	5	10	10	30	100

【課題に対するフィードバックの方法】
試験の解説、講評を後日、ポータルシステムで配信する。

【教科書・参考書等】					
書名	著者名	出版社名	発行年	種別	必要度
NEWエッセンシャル法医学 第6版	高取 健彦 (監修), 長尾 正崇 (編集)	医歯薬出版 (株)	2019	参考書	推奨
備考					

【オフィスアワー】
月曜～金曜 14:00～17:00 医学部社会医学系法医学分野に電話連絡

【実務経験を活かした実践的教育について】	
担当教員の実務経験の有無	有
実務経験の内容	法医学解剖100件/年、臨床医としての10年以上の診療経験、メリーランド州での解剖実務経験、動物を用いた分子生物学研究10年以上
実務経験に基づく実践的教育の内容	国内外の法医学解剖はもちろんのこと、アルコール医学の基礎研究も行っています。臨床医としての病院勤務経験や専門医資格も有しますので、学生諸君が社会に出てから法学の専門家として必要となる医学的事柄をわかりやすく指導します。

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
1	法医学概論	法医学と関連領域、法医鑑定、死因、死因の種類などについて解説する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分
2	生命徴候と死	生命徴候、心臓死、脳死、臓器移植法などについて、医療倫理の側面と実務面から考察する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分
3	死体現象	早期、晩期、特殊死体現象について、これらが死後経過時間のみならず死因の推定にも役立つことを解説する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分
4	損傷と受傷機転	鑑定事項として求められる損傷と受傷機転について、創傷の種類と鑑別、致命傷になりやすい頭部外傷の種類や成因、高エネルギー外傷などを解説する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分
5	交通事故と法医学	交通関連法規、交通事故の現状、交通外傷の法医鑑定事例について解説する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分
6	日本の死因究明	死体検案と異状死体について、異状死体の届け出義務について、死因究明等推進基本法についてなど、わが国の死因究明の在り方を考察する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
7	薬物依存と法医学	覚せい剤、大麻などの違法薬物、向精神薬・眠剤などの処方薬の大量摂取に関連する事故・中毒・自殺の鑑定事例について紹介する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分
8	窒息・溺水	縊頸・絞頸・扼頸の違いの解説、気道内異物・溺水・浴槽内死亡の鑑定事例について紹介する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分
9	異常温度による外因死・内窒息	焼死・CO中毒・広範囲熱傷・熱中症・凍死・硫化水素などの成因や鑑定事例について解説する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分
10	内因性急死	法医学で扱う自然死について、鑑定事例を紹介する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分
11	医療の質と安全の確保	医療関連法規について、医療安全の取り組みについて、薬害について考察する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分
12	美容医療に関する諸問題	美容医療における自己決定権、説明義務について。医療を病気の治療目的以外に用いることについての倫理面の考察。美容医療後遺症について実務経験を元に解説する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
13	飲酒と社会問題	酒類はアルコールを主成分とする嗜好品であるとともに、依存症を引き起こす薬物でもある。アルコール依存症は飲酒運転・家庭内暴力などの社会問題及び肝疾患・突然死などの健康被害をもたらす。飲酒と社会問題について考察する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分
14	オートプシーイメージング	本邦では、近年、死因究明に画像診断を用いることが多い。死亡時画像診断の実務的、法的問題について考察する。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分
15	アメリカの法医学	アメリカの法医学はアメリカの社会問題を映し出す鏡に他ならない。薬物依存・銃・人種差別についての実務経験を元にして解説する。アメリカの死因究明制度にも触れる。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。不明な点は次週の講義終了後に質問を受付する。	170分